

介に入ると遠慮する者中該之平を引くに至る

西中は争論因本部より、取事情を混業因に報告し

と共に後、対策に熟慮をこらした。

郊外新電線。同情混業、

同五口位、麻布田の橋本菜部、陽部、新部、徳菜、

大倉、決果、同情混業決議とあり、右が、同下各支部

とも、急業氣分は先論して、右の如く、王子は完全混

業に感印して、あるも他は消極的の意見に止まり

19 会社を徹底的に監視するに至らざる状況あり